



和敬会だより

第135号

発行所
医療法人社団 和敬会
谷野呉山病院
富山市北代5200
<https://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和3年6月21日

電子カルテの操作を学ぶ新入職員



医療法人和敬会

基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して私たちはあなたと共にある」

基本方針

- ・専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
 - ・常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
 - ・広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
 - ・精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
 - ・環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
 - ・精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
 - ・人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

谷野呉山病院
ホームページ



職員募集専用



「そして、1年が過ぎた」

理事長・院長 谷野 亮一郎



新型コロナウイルスによるパンデミック（世界的大流行）は、まさに「災害」に位置付けられるものです。そして「感染症災害」は他の災害と大きく異なる特徴を有します。ひとつは「いつまでも続く災害の現在性」です。放射線災害と同様、先が見えない被災感を抱き続けなければならないという点です。もうひとつの特徴が「絆の分断」です。感染症は、危機に立ち向かうための力となる人間の絆や相互の社会的サポートを物理的に分断します。

このような状況が1年以上続く中、私たちは、いかに物理的な距離を取りつつも精神的・情緒的交流を図るか試行錯誤してきました。断酒会では、ZoomやLINEを活用したオンラインミーティングを開催し、オンラインにしたことでこれまで会場に出向くことが叶わなかった当事者やそのご家族が参加されるようになったという話も聞きます。ピンチはチャンス、支援の裾野が広がったのではないのでしょうか。学会や研修会もオンライン開催あるいはハイブリッド開催（現地会場参加とオンライン参加の併用）がスタンダードになるでしょう。その際、現地会場では参加者数の上限が設定されたり、ワクチン接種を済ませていることが現地会場参加の条件になるかもしれません。

無症状で忍び寄ってくる「忍者」のようなウイルスに対して、私たちはマスクをする、消毒する、換気をするなど、例えるならば「城壁」を高くして「忍者」の侵入を封じています。病院や介護施設、障害福祉事業所などは職員が一丸となって「城壁」を守っています。医療現場の感染管理で用いられる「100-110」という言葉。「ひとりでも感染対策を怠れば無に帰す」という意味で、強い緊張感を持たせる言葉です。強い緊張感を持ったまま1年が過ぎました。ですから、クラスターが発生した障害者支援施設の対応にあたっておられる富山大学医学部の山城清二客員教授が、同施設のこれまでの感染対策の労をねぎらっておられる映像を見て、部外者ながらとても有り難く思いました。

我が国の現状を踏まえると、東京オリパラをこの「感染症災害」からの復興五輪に位置付けるには時間が足りないように思いますが、朝乃山がどん底から這い上がってくる頃には、復興を祝い、朝乃山を囲んで皆で祝杯をあげたいものです。

一林先生 就任のご挨拶



令和三年四月一日に着任しました一林（いちばやし）真理と申します。出身は千葉県で石川県で大学時代を過ごしました。大学時代はバレーボール部に所属し、富山大学とも交流試合をしており頻繁に行き来しておりました。試合後にカレーうどんの吉宗でうどんを食べていたのがなつかしい思い出です。

大学卒業後は東京の病院で初期臨床研修を経て昭和大学の精神科に入局し、その後は石川県の松原病院で勤務していました。このたび縁あって谷野呉山病院で働けることを嬉しく思っています。

着任して驚いたのは、ストレスケア病棟の窓からみえる桜がきれいなこと、作業療法室が広々していて内容も充実していることでした。病棟からの景色をゆったり眺め、患者さんは皆作業を楽しみにしておられ、まさに『療養』という言葉がぴったりだな、と感じました。そして、昼食を食べて、二度びっくり。食事内容が充実しており、お昼ご飯が楽しみにになりました。入院中は食事が唯一の楽しみである患者さんが多く、食事の話で患者さんと共通の話題ができたことを嬉しく思っています。職員の皆さまの患者さんに寄り添う姿勢は心温まるものでありました。

私も患者さんやそのご家族に寄り添い、温かみのある医療を提供し良い関係性を築けるよう精進していきたい所存です。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

看護部長 就任のご挨拶



令和三年四月一日に看護部長として就任しました吉澤（よしざわ）紀子です。県立中央病院、高志リハビリテーション病院を経て、看護師歴は三十九年ありますが、精神科領域は経験がなく、新たな学びとと思っています。精神科においても、超高齢化社会に伴い、患者の高齢化や家族関係の希薄により在宅支援に難渋する事例が多い現状があります。

着任して、患者さまや家族に支援するには、疾患や家族を含めた患者の生活背景の情報と共有が重要であり、どのスタッフも患者さまの現病歴や家族状況・イベントに関する情報をよく把握していることに驚嘆しました。

また、患者さまが地域で生活するためには、各職種が外来から入院、訪問、デイケア、生活支援センター、生活訓練センター、グループホーム、ワークハウス等の全ての中で患者さまの安全を担保しながら見守り支え、支援する施設を垣間見る機会を頂きました。地域の中で患者さまが生活し、地域の共同体の中に少しでも溶け込めるよう病院全体で取り組んでいる姿勢に感銘しました。それを行うには、病院という組織でチームワークが重要であること、チームワークを図るにはコミュニケーションが取れる働きやすい職場環境を管理者の一人として提供し、「スタッフファースト」を心がけていきたいと思っています。より具体的に且つその役割に少しでも寄与できるよう、今までの看護・管理経験を活かしながら、微力ではありますが精一杯頑張ります。

そして、病院前の呉羽山公園・都市緑化植物園の四季の移ろいを見ることが出来るのも楽しみの一つになりました。よろしく願っています。



初任者研修を実施しました

四月に入職した新職員を対象として、初任者研修を実施しました。

約二週間の日程で、理事長からは法人の歴史や理念を学び、各職種から精神科の症状や治療、看護やリハビリテーション、地域生活支援システムなどを学びます。また、防災や医療安全、就業規則や接遇マナーまで幅広い内容となっています。

研修を終えたあとの職員は 当法人のチームの一員として、意識も顔つきも変わり、配属先での業務に取り組んでいます。

当院では平成二十八年より電子カルテの運用を開始しています。

患者さま中心のチーム医療の実践には情報共有が欠かせませんので、新職員は電子カルテの操作の研修も受けています。キーボードに慣れ、上達しています。

16列マルチスライスCTを 導入しました!!

令和二年度に、すべての放射線機器の更新を行い、新しく16列マルチスライスCT装置(ドイツシーメンス社製)を導入いたしました。この装置は一度に16断面(スライス)が撮影できるため、以前のCTに比べ高精細な画像が得られるようになり、診断に必要なより多くの情報を提供することが可能となりました。



また、検査時間も大幅に短縮され、患者さまの負担もかなり軽減されましたので、安心して検査を受けていただけるものと思われます。

放射線課 課長 扇割 毅

谷野医院へ感染予防策の徹底へ

法人の新型コロナウイルス感染症対策委員会の方針に基づいて、院内では次の対策を行っています。

『待合室でマスクを外す機会をなくしたい!』

自動販売機を一階に移動し、待合室での飲食は中止。また、オゾン空気清浄機(下)を導入しました。

『ウイルスの付着を防ぎたい!』

トイレに自動水栓センサー(上)を取り付け、洗剤も自動噴霧(下)に変更し、接触しないようにしました。



『有事に備え、感染防御セットを準備』

環境整備に用いる消毒液(上)は二タイプ準備し、場所や用途に応じて使い分けています。マスクやガウンなど、すぐに使えるように「感染防御セット」を常備してあります。



患者さまには、現在も検温や聞き取りにご協力を頂いています。院内で感染症を発生させない・感染リスクを高めないうために最新情報に注目し、患者さま・スタッフの双方の安全の確保に貢献すべく、引き続き活動していきます。

看護師 石橋 良美



デイケアのぞみ 新年会



令和三年一月三十日
(土)にデイケアのぞみの新年会が開催されました。当初の予定日の一月十六日が、三十数年ぶりの大雪となり、延期となっていました。箏と尺八の二重奏「春の海」のBGMが厳かに流れる中、手話クラブによる「正月」、スタッフのギター生演奏で「二月一日」を全員で合唱し開始となりました。

最初の出し物は獅子舞です。獅子頭はスタッフが半月前からすべて手作りで製作し、段ボール箱に色塗りや顔のパーツを貼り付けすばらしい作品となりました。所長が獅子頭を持ちホールを勢いよく舞い、メンバー一人の頭を噛み今年の厄払いを行いました。

次は福笑いです。おかめとひよっとこの顔もスタッフの手作りです。熱い声援の中メンバーそれぞれが仕上げた顔は、みんなの大笑を誘っていました。



最後はお楽しみ抽選会です。メンバーは今年の運勢付きおみくじが入ったポチ袋をひき、お年玉初夢賞の当たり券を当てるのに奮闘しました。運勢の文面は、メンバー一人の健康を願う内容となっていました。



今年の新年会は、雪の中参加メンバーは三十二名と多く「獅子頭が本物みたいで獅子舞も良かった」「福笑いが楽しかった」などの感想が聞かれ、新型コロナウイルス感染症対策を講しながら、飾り付けなどの準備から当日の進行までメンバーとスタッフが協働し有意義な時間を共有できたこと、昔懐かしいお正月行事を盛況のうちに終えることができたことに感謝したいと思います。また、お忙しい中参加して下さった谷野本部長や相澤前看護部長、丸本リハ部長に感謝いたします。

デイケアのぞみ 所長 川瀬 健一

防火訓練を実施しました



令和三年三月十九日に谷野呉山病院とリハビリテーションセンターにおいて防火訓練が実施されました。あつてはならない本番を想定した雰囲気でおこなわれました。

ホームページを一新しました



谷野呉山病院のホームページが一新されました。携帯電話やタブレットでも見やすくなりました。

谷野医院・リハビリテーションセンターも順次準備に入ります。ご期待下さい。

法人の動き

月	日	事項
11	27	県健康課 実施審査・実施指導
12	9	職員総会
12	28	創立記念式典・仕事納め式
1	4	仕事始め式
2	8	ホームページリニューアル
3	10	職員総会
3	19	防火訓練
3	29	理事会
4	1	臨時職員総会
4	14	富山市不在者投票

資格取得

看護師免許

高瀬 由 (看護部)

准看護師免許

浅井 宏幸 (メンタルケア病棟)
坂井綺来莉 (メンタルケア病棟)
茶谷 和 (クライシスケア病棟)
向出 衣里 (33病棟)

表彰

令和二年度永年勤続者表彰

(令和二年十二月二十八日)

三十年勤続

丸本 薫 (リハビリテーション部 作業療法士)
細川恵美子 (33病棟 准看護師)

二十年勤続

山西亜紀子 (総務課 事務員)
山本 浩子 (訪問看護室 看護師)
川口加奈子 (総曲輪デイケアセンター 看護師)
中村 祐哉 (メンタルケア病棟 准看護師)
大山 洋子 (メンタルケア病棟 准看護師)

十五年勤続

川田 早苗 (デイケアのぞみ 精神保健福祉士)
岩城 佑輔 (クライシスケア病棟 看護師)
橋本 安都 (メンタルケア病棟 看護師)
中島 健一 (コ・メデイカル課 精神保健福祉士)
藤井千恵子 (33病棟 准看護師)

十年勤続

土肥 綾香 (コ・メデイカル課 精神保健福祉士)
長野 幸栄 (栄養課 調理師)
川村 未奈 (クライシスケア病棟 看護師)
岡田 美紀 (3A病棟 看護師)
野崎 誉 (3A病棟 看護師)

医療安全標語 優秀作品

理事長賞

「深呼吸 こころのゆとりが 事故防止」

最優秀賞

「^{ゼロ}〇レベル その気づきが事故防ぐ」

優秀賞

「忘れない、ヒヤリで済んだあの経験、
ダブルチェックで事故防止」

紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

編集後記

昨年に引き続き、新入職者の紹介も兼ねた花見が中止となりました。顔と名前を覚える貴重な機会がなく困っていましたが、今年はい新入職者自己紹介集を全職員に配布することができました。

新入職者ともチームを組み業務に励みたいと思います。

(樹)